

長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	せせらぎ美術協会
事業名	第45回 せせらぎ美術協会 本展

事業内容

実施日	令和6年11月19日～11月24日	実施場所	ギャラリー82
入場者数	320人	出演・出品等参加者数	33人
目的	絵画研究と会員相互の親睦をはかり、地方文化の向上を目的としています。		

入場者数は、ほぼ前年並みで少ないと思われます。要因として、

まだまだ流行しているさまざまな感染症がおおきな要因で見込みと比較して少なかったと考えられます。又、近年、芸術文化に対する意識の希薄化考えられます。

事業の成果

感染症流行の中、アルコール消毒、入館時の体温チェック等々気を使いながら事業実施しました。結果、今色々の美術団体の会員数が減少の傾向にある中、せせらぎ美術協会本展覧会が開催されてとても嬉しいと多くの来場者からアンケートを頂きました。

又、展覧会の絵を観て刺激され次回出品したいという方もいて会員数も増加の傾向にあり効果があがったと考えます。昨年より若い方の来場が増えたように感じられ感動を与えることができました。

会員がお互い切磋琢磨し、研鑽の結果、以前より数段レベルがあがり、又、当協会の出発点である城山の成人学校の先生方に出展頂き充実した展覧会が開催できました。来られた方のアンケートからですが、とても美しい絵がたくさんあり心が豊になり、又レベルの高いのにビックリしたと書かれていました。

写生会・人物講習会などでお互い切磋琢磨したい。

その他

当協会は、絵画研究と会員相互の親交をはかり、地方文化の向上を目的としています。ただ、年々会員も高齢化し病気等で今回参加できなかった会員もいます。会員数の減少が懸念される昨今、若い世代にも関心をもってもらい会員の増加を図るにはどうすればいいのかが課題です。若い世代がもっと芸術文化に関心をもてる余裕が必要です。我々は50周年に向けてせせらぎの流れを止めないという理念のもと歩み続けたいと思います。



会場様子



会場入口様子



会場様子



11/24 研究会(セミナー)様子
講師 碓田唯彦先生